

身近に新型コロナウイルスの患者や濃厚接触者と判定された人が…。「もしかしたら自分も感染したかも?」「気になる症状が出ている」と不安を感じたら、一人で悩まず、まず電話!

感染しているかもしれない!? こんな時どうする?



発症や重症化の予防に期待

感染症に対する免疫をつけたり、免疫を強めたりするために、さまざまなワクチンが接種されています。

新型コロナウイルス感染症のワクチンについても、発症や重症化を防ぐことが海外の研究で明らかになっています。海外の臨床試験では、ワクチンを接種したグループは、ワクチンでないものを接種したグループより、約70%

95%発症者が少なかったと報告されています。

また、ワクチンの接種により重症化を防ぐことが期待されており、重症患者が減ることによって医療機関の負担軽減にもつながります。県は市町村や医療機関などと連携し、新型コロナウイルス感染症のワクチンをできるだけ早期に、安心して接種できるように準備を進めています。

新型コロナウイルス感染症の ワクチン接種が 始まります!



国内外で感染拡大が続く、新型コロナウイルス感染症。現在、収束のための1つのカギとなるワクチン接種の準備が進められています。

接種の対象

当面は16歳以上が対象となります。

なお、妊婦の方の接種については、安全性や有効性を踏まえ、国において現在検討中です。



安全性を最優先

ワクチンは、安全性の確保を最優先に、有効性だけではなく、どのような副作用が起こりうるかなどについても確認が進められています。

また、ワクチン接種後の副反応を疑う事例の情報を収集し、専門家が評価することで、ワクチンの安全対策を継続して行っていく予定です。

接種の優先順位・スケジュール

[3月中旬以降] 医療従事者
[4月以降] 高齢者
[以降順次] ①基礎疾患を有する方や高齢者施設等の職員
 ②その他一般の方

※スケジュールは2021年2月9日時点のものです。今後変更になる可能性があります。

その他の留意事項

- 原則として、住民票所在地の市町村の接種実施医療機関などで接種をうけることとなります。
- 接種を受ける場合、住民票のある市町村から接種券が配布される予定です。詳細は各市町村からの連絡をお待ちください。

接種は無料

外国人を含め、対象となる全ての住民が無料で接種できます。

接種回数

現在、国が確保を見込んでいるワクチンは、一定の期間を空けて2回接種することになります。

- ### 家庭では次の点に注意!
- ① 部屋を分ける
 - ② 感染が疑われる家族のお世話はできるだけ限られた方で
 - ③ マスクをつける
 - ④ こまめな手洗い
 - ⑤ 換気の実施
 - ⑥ 手で触れる共用部分の消毒
 - ⑦ 汚れたリネン・衣服の洗濯は、手袋・マスクを着用して
 - ⑧ ゴミは密閉して廃棄

家族の感染が疑われる場合は?

感染が疑わしい人は外出を避けてください。家族や同居者も体温測定など健康観察を行い、不要不急の外出は避けましょう。特に咳や発熱などの症状があるときは、学校や職場などに行かないようにしてください。

感染拡大地域との往来は?

緊急事態宣言が発令されている地域との往来は自粛を。また、「直近1週間の新規感染者数(対人口10万人)が15人以上の地域」「不要不急の往来や外出自粛をお願いしている地域」との往来は慎重に判断を。なお、不要不急の往来には、出張、通院、介護、進学・就職などでの移動は含まれません。

感染が拡大している地域は以下のQRコードから確認できます

